

第 12 回全国高校生手話パフォーマンス甲子園 予選審査及び本大会出場チーム選考実施要領

1 予選審査会の概要

- (1) 日程 令和7年7月17日(木)
 (2) 場所 鳥取県庁
 (3) 補足

ア 具体的なスケジュールや会場は、後日、大会公式ホームページにて公表する。

イ 予選審査結果の発表は、7月18日(金)に行う。

ウ イの発表は、公開の上行。また、発表会の様子は、「手話パフォーマンス甲子園☆動画チャンネル」(YouTube) 上でライブ配信を行う。なお、発表後、大会公式ホームページに結果を掲載する。

2 審査員

審査員は、部門別に以下のとおり設置する。

- (1) 演劇・コント・ポエム等部門 演劇、コント、ポエム、落語、その他のパフォーマンス
 計5名(審査員長、きこえない・きこえにくい審査員2名、きこえる審査員2名)
- (2) ダンス・歌唱部門 ダンス・歌唱を中心としたパフォーマンス
 計5名(審査員長、きこえない・きこえにくい審査員2名、きこえる審査員2名)

3 審査方法

各審査員が各チームから提出を受けた予選審査動画を視聴の上、4の採点方法に基づき審査及び採点し、その合計を各チームの審査得点とする。

4 採点方法

- (1) 両部門の各審査員が、次の表に掲げる審査項目を担当項目別に採点する。

【演劇・コント・ポエム等部門】

大項目	小項目	5段階で審査	配点	ろう者	きこえる人	1チーム 当たりの点数
手話言語 の正確性・ 伝わりやす さ	手話言語が正しく表現されて いるか	1 2 3 4 5	5点	5点	—	
	表現したいテーマにあった手話が 使われているか	1 2 3 4 5	5点	5点	—	
	顔の表情や身体全体も使って、 演者が伝えたい内容が誰にでも 伝わるものになっているか	1 2 3 4 5	5点 (加点倍率×2)	10点	10点	
演出力・パ フォーマンス 度	観客を魅了するパフォーマンスと なっているか	1 2 3 4 5	5点 (加点倍率×2)	10点	10点	
	構成や演出が良く工夫されてい るか	1 2 3 4 5	5点 (加点倍率×2)	10点	10点	
	オリジナリティーにあふれているか	1 2 3 4 5	5点	5点	5点	
	高校生らしいいたむきさが感じら れるか	1 2 3 4 5	5点	5点	5点	
審査員一人当たりの採点				50点満点	40点満点	
審査員の数				3名	2名	
合 計				150点満点	80点満点	230点満点

※5段階審査基準 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:非常に劣っている

※審査方法:動画視聴による審査(3分以内)を行い、手話言語の正確性・伝わりやすさと演出力・パフォーマンス度の観点から採点

【ダンス・歌唱部門】

大項目	小項目	5段階で審査	配点	ろう者	きこえる人	1チーム 当たりの点数
手話言語 の正確性・ 伝わりやす さ	ダンス等のパフォーマンスに引 張られて手話の形、方向、表情 が崩れていないか？	1 2 3 4 5	5点	5点	—	230点満点
	音楽のリズムに引っ張られて手 話が曖昧になっていないか？	1 2 3 4 5	5点	5点	—	
	顔の表情や身体全体も使って、 演者が伝えたい内容が誰にでも 伝わるものになっているか	1 2 3 4 5	5点 (加点倍率×2)	10点	10点	
演出力・パ フォーマンス 度	観客を魅了するパフォーマンスと なっているか	1 2 3 4 5	5点 (加点倍率×2)	10点	10点	
	手話を使ったダンス等のパフォー マンスを通して、歌の情景が誰に でも伝わるものになっているか (楽曲や歌詞に合う手話・ダン ス等のパフォーマンスができてい るか？)	1 2 3 4 5	5点 (加点倍率×2)	10点	10点	
	オリジナリティーにあふれているか	1 2 3 4 5	5点	5点	5点	
	高校生らしいひたむきさが感じら れるか	1 2 3 4 5	5点	5点	5点	
審査員一人当たりの採点				50点満点	40点満点	
審査員の数				3名	2名	
合 計				150点満点	80点満点	230点満点

※5段階審査基準 5:非常に優れている 4:優れている 3:普通 2:劣っている 1:非常に劣っている

※審査方法：動画視聴による審査（3分以内）を行い、手話言語の正確性・伝わりやすさと演出力・パフォーマンス度の観点から採点

- (2) 演技等が次に該当する場合は、当該各号に記載のとおり失格又は審査得点から減点とすることとし、審査員の協議（減点の点数の定めがないものは、その点数も含む。）により決定する。なお、協議の結果、意見がまとまらない場合は、審査員長が決定する。

項目	内容
差別的表現、わいせつ表現、特定の個人・団体の誹謗中傷、その他公序良俗に反する内容が含まれる場合	失格
第三者の権利を侵害する内容が含まれる場合	失格
本大会では準備に大幅に時間を要する又は使用（再現）できないことが明らかな大道具、設備、演出等の使用	失格
演技上のセリフや歌詞、手話言語に対応した字幕の表示が不十分な場合	10点減点
演技制限時間（動画の再生時間、3分。）を超過した場合	10点減点
その他、定められた動画の撮影方法に反した場合※	5点減点
その他、不適切と認めた演技又は行為	失格又は減点

※「その他、定められた動画の撮影方法に反した場合」とは、以下のとおりとする。ただし、その違反の程度が軽微で、審査に影響がない場合を除く。

- ・演技者の正面で撮影していない場合。
- ・カメラを固定せず、ズームやワイド等の倍率の変更及びカメラを移動させて撮影している場合。
- ・背景に画像や動画を演出として使用している場合。ただし、画像については、演技の構成上、必要性がある場合は除く。
- ・演技者の全身が表示されていない場合。ただし、演技者の動きがない場合で前後の列となる場合の後列の演技者や着席している場合は、該当する演技者に限って手話言語が見えるよう少なくとも上半身を表示させればよい。
- ・映像の明度が非常に低く、演技者の表情や手話言語がよく見えない場合。
- ・字幕が認識づらい場合（文字の大きさが非常に小さい、文字色が薄い、背景と同化しているなど）。

・字幕を固定して表示していない（文字が流れる字幕表示をしている）場合。

・字幕が演技者と重なっている場合。

※上記のほか、「第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園開催要領」の10の（1）のなお書きのとおり、新しい手話言語表現に挑戦していただきたいことから、昨年と同じタイトル、脚本、楽曲での演技内容と判断される場合は減点対象になり得るものとする。

5 本大会出場チームの選出（両部門とも同様に8チームずつ 合計16チーム）

（1）得点順枠（両部門4チーム以上）

審査得点が高い順に4チームを本大会出場チームに選出する。

（2）合同チーム枠（両部門1チームずつ）

（1）の選出チーム以外に、聴覚障がいを対象とする特別支援学校高等部とその他の学校で構成する合同チームの中で審査得点が高いチームを本大会出場チームに選出する。なお、予選審査で10位以内のチームを対象とする。

（3）初出場枠（両部門2チームずつ）

（1）及び（2）の選出チーム以外に、これまで本大会に出場したことがないチームの中で審査得点が高い上位2チームを本大会出場チームに選出する。なお、複数校による合同チームの場合は、全ての構成校がこれまで本大会に出場したことがない場合のみを対象とする。なお、予選審査で10位以内のチームを対象とする。

（4）開催地枠（両部門1チームずつ）

（1）から（3）までの選出チームの中に開催地（鳥取県）のチームが含まれていない場合に限り、開催地（鳥取県）のチームの中で審査得点が高いチームを本大会出場チームに選出する。なお、予選審査で10位以内のチームを対象とする。

（5）補足

ア（2）～（4）に該当するチームがない場合（又は該当チームが既に（1）の枠で選出されている場合）は、これらの枠は（1）の枠へ振り替える。（両部門とも同じ）

イ（2）及び（3）の選出対象となるチームは、各チームの申告も参考に、事務局が判断する。

ウ 審査得点が高点となり、順位を審査得点では決められない場合は、以下のとおり順位を決定する。

（ア）「手話言語の正確性・伝わりやすさ」の審査項目の高いチームを上位チームとする。

（イ）（ア）が高点の場合は、審査員の多数決で上位チームを決定する。

（ウ）（イ）が高点の場合は、審査員長が順位を決定する。

6 本大会での演技順

演技は部門別に実施する。順番は、前半は「演劇・コント・ポエム等部門」、後半は「ダンス・歌唱部門」とし、部門ごとの演技順は以下のとおりとする。

（1）両部門とも先ず、開催地枠、初出場枠、合同チーム枠の各選出チームの順に演技を行うこととする。なお、各枠の選出チームがない場合は、演技順を繰り上げる。

（2）続いて、得点順枠の審査得点が下位のチームから順に演技する。

※なお、審査得点が高点の場合は抽選を実施し演技順を決定する。当該抽選は、予選審査結果の発表後に続いて行うものとする。

7 予選審査結果の通知及び公表

（1）参加申込みチームに対し、予選審査結果（本大会出場又は落選）、審査得点及び審査員評（審査員名は非公開）を通知する。また、失格となったチームに対しては、その旨を通知することとする。なお、辞退したチームについては、通知しない。

（2）本大会出場チームについては、チーム名及び審査得点を大会公式ホームページに掲載する。

（3）予選審査結果通知の際には、審査得点によるクラス分けの結果も通知する。（別添参照）

8 その他

（1）本大会出場チームの中から、選手宣誓を担当する1チームを選出する。なお、選手宣誓を担当するチームは、予選審査結果の発表時に抽選を行い、決定するものとする。

（2）予選の参加申込みを行ったものの、期限までに予選審査動画を提出しなかったチームは、失格とする。

（3）予選の参加申込みを行ったチームは、予選審査会の前日までに自由に参加を辞退することができる。この場合、まずは事務局にその意思を申し出るとともに、辞退届（任意書式）を提出すること。なお、本大会出場チームに選出されたチームが本大会の出場を辞退することは、原則として認めない。

[別添]

手話パフォーマンス甲子園予選審査得点によるクラス分けについて

参加チームの手話言語及びパフォーマンスのスキル向上の目標にしていだけるよう、予選審査結果について、得点をもとに以下の基準でクラス分けを行い、通知する。

【クラス分け基準】

<p>【 S1 】 各部門10チーム (本大会出場8チーム+2チーム)</p>
<p>【 S2 】 S1クラス及びS3クラス以外</p>
<p>【 S3 】 予選審査得点率60%未満</p>

《備考》

- ・ 対象チーム（校）に該当クラスを個別に通知する。
また、全体の結果として、各クラスの該当チーム数もあわせて通知する。
※全体の結果（本大会出場チームを除く。）については、参加チーム（校）以外には非公表とする。
- ・ 得点については、本大会出場チームのみHP等で公表することとし、予選通過とならなかったチームの得点は個別に通知する。
- ・ 本大会出場チーム以外の予選参加チームへ贈る参加記念盾に、学校名及び該当クラスを記載する。